

2018年度 生活困窮者支援ソーシャルワーク研修 ～最前線に身をおく社会福祉士に必要な知識と技術の理解～

私たちは、貧困・生活困窮問題の最前線に日々身をおき現場実践を担っており、常に生存権保障と生活保護法への適切な理解が必須となっています。

貧困や生活困窮状態にある方などの支援現場に従事する社会福祉士等を対象に、権利擁護を基盤としたインテーク・アセスメント・プランニングと社会資源開発に必要な技術を修得するための研修を開催します。

1. 日 時：2018年11月24日(土)～11月25日(日)
2. 会 場：研究社英語センター(東京都新宿区神楽坂1-2)
3. プログラム：(予定)

時間	項目・時間
11/24 (土) 9:30～10:00	受付
10:00～10:15	開会・オリエンテーション等
10:15～11:20 (65分)	講義「貧困と格差の現状と定義、生存権保障と国家責任(ナショナルミニマム)」 講 師：平野 方紹 氏 (立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 教授)
11:20～11:25	休憩(5分)
11:25～12:30 (65分)	講義「生活保護法と公的扶助の理解と社会福祉士が具備しなければならない倫理」 講 師：平野 方紹 氏 (立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 教授)
12:30～13:30	休憩(60分)
13:30～15:20 (110分)	講義「生活困窮者支援と権利擁護 ～複合課題へのアセスメント～」 講 師：土屋 幸己 氏 (一般社団法人コミュニティーネットハピネス)
15:20～15:35	休憩(15分)
15:35～18:05 (150分)	演習①「個別支援のアセスメント・プランニング」 講 師：土屋 幸己 氏 (一般社団法人コミュニティーネットハピネス)
18:30～	懇親会(希望者のみ)
11/25 (日) 9:00～16:30 (昼食休憩 60分含む)	演習②「個別支援からみえてくる地域課題の把握と整理」 講 師：塚本 鋭裕 氏 (障害者福祉施設 サンサン大府)
	演習③「地域課題解決のための社会資源開発」 講 師：塚本 鋭裕 氏 (障害者福祉施設 サンサン大府)
16:30	閉会あいさつ

4. 受講要件：ソーシャルワークの実践現場に従事する社会福祉士
5. 定 員：90名(先着順)
6. 受講費：都道府県社会福祉士会の会員17,000円 / 会員以外22,000円(資料代含む)
7. 懇親会：参加費 4,000円(希望者のみ)
8. 宿泊等：会場までの往復の交通および宿泊、また昼食は自己手配となります。
9. 申込方法：裏面の申込書に必要事項を記入し、E-mail または FAX、郵送にてお申し込みください。電話でのお申し込みは受け付けておりません。
また、E-mail でお申し込みの場合には、必ず件名に標記研修会名をご入力ください。生涯研修センターより3営業日以内に申込書受領にかかるメールを返信します。メールの返信が届かない場合には、通信障害等が考えられますので、裏面にある「問い合わせ先」までご連絡ください。
10. 申込期限：2018年10月23日(火) (E-mail、FAX の場合は必着、郵便の場合は消印有効)
受講の可否は10月下旬に、申込者全員に文書でご連絡します。併せて、研修会場、受講費等納入方法、キャンセルの扱い等をご案内します。
11. 研修単位：2日間すべてのプログラムを修了することで、(公社)日本社会福祉士会の生涯研修制度の「生涯研修制度独自の研修・実績12時間」になります。
12. 主 催：公益社団法人 日本社会福祉士会